

● 予算委員会

審査の結果、令和2年度勝山市一般会計補正予算（第6号）を可決しました。

◆ひとり親世帯臨時特別給付金の再支給

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に1回目の支給対象者に対して、令和2年12月18日から2回目の支給を行います。理事者からは、6月に結婚された方も支給対象になるとの説明もありました。

- 対象者：**①令和2年6月分の児童扶養手当の受給者
②公的年金給付等の受給により、児童扶養手当に係る支給制限限度額を下回る方
③家計が急変し、直近の収入が児童扶養手当の対象となる水準に下がった方
- 給付額：**1世帯5万円、第2子以降は1人につき3万円

◆社会資本整備総合交付金

委員：克雪住宅推進事業補助金345万9,000円の減額、多世帯同居・近居推進事業補助金757万4,000円の増額の説明を求める。

理事者：勝山では雪を融かす家よりも屋根を斜めにして排雪する家にする方が多く、申請が少なかったため減額になり、世帯同居を考えた時に新築で建てる方が増えており、申請数も増え、今回の増額に至った。

委員：空き家対策についてもリフォーム支援事業

補助金を周知して活用してもらうようにしてほしい。

◆教育費

修学旅行費用の補正予算について、理事者からは、従来の修学旅行行程予約のキャンセル料金の補填補助ではなく、新型コロナウイルス感染予防対策の一環として、これまで行われてきた県外への修学旅行が自粛される中で、その行程や行き先を県内に変更して実施した各学校に、その助成をするものと説明がありました。



◆木質バイオマス有効活用事業補助金

これまで九頭竜森林組合には間伐材1㎡あたり1,700円の補助金が福井県から交付されていたが、それが850円に減額されたことを受けて、勝山市は追加の補助金を交付することとしました。その背景には、森林を適切に管理することで、今後の鳥獣害対策の布石としたい考えがあります。

● 議会改革特別委員会

議員定数については、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、開催を見合わせている識者を招いての学習会や団体等との意見交換会の概要について、具体的な議論をしました。

今後も、精力的に議論を重ねる中で、議会の機能強化等についても勘案し、定数については総合的に判断することとします。

また、タブレットの導入に向けて運用規程などを策定しました。

その他、メール等の活用や議会改革の広報、議会広報の内容、さらには事務局機能などについて種々議論しました。

今後も、社会情勢や改革の優先度合いなどを考慮しつつ、活発な議論を重ねていきます。